



ひだまり食堂



こんにちは(^▽^)/ ひだまり食堂です♪

11月13日(日)に園田の逸品研究会が主催するイベント「そのだippinn ツアー」にひだまり食堂もランチで参加してます！興味のある方はサニーサイドにお電話お待ちしております、(^o^)
定員があるので申し込みはお早めをお願いします♪



えるうい 1 F 班



季節もいつの間にか秋・・・

ご飯もおいしく、つい食べ過ぎてしまいます(笑)

サニーサイドでは、『おいしい給食♪』を提供しています。給食作りもお仕事の1つで、日々調理練習に取り組んでいます。どのメニューにするかなど職員と相談しながら、『おいしい給食♪』を提供してくれています。

食べ過ぎてしまう秋！
食べすぎは禁物です
ね・・・(笑)



えるうい野菜班！



第15回もぐもぐ祭り！無事開催できました！ありがとうございました。

誰かの貧しさの上に僕らの飽食が許されてることを心得て、種を蒔き収穫を目指して頑張ります！



グループホーム ほっこり庵

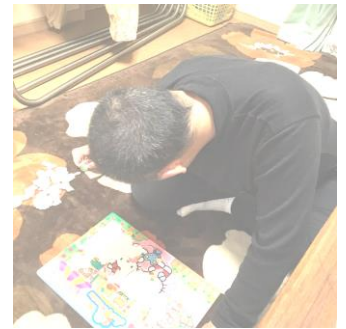


こんにちは！グループホームほっこり庵担当の福田です。

2週間程前から、利用者のOさんがパズルに夢中になっています。「さあ、パズルやろか！」と1日数回完成させています。

完成すると、「できたで！」と報告し、見せてくれます。物を作るという事が好きな方なので、ピースが当てはまっていく感覚が楽しいのでしょうか。

同じパズルなのに、何度も楽しめているようで、飽き性の僕は少しうらやましいです(笑)



中小企業家同友会主催の高校生ガイダンスに参加してきました



今回で3回目の参加となります。なんと地元、尼崎工業高校でした。第1部は株式会社CYUJOの清水社長の基調講演で「一生懸命だと仕事は面白く、いい加減にしたら、仕事がおもしろくなくなっていった」

と体験談をまじけての語りを聞き、私の高校時代にもこんな会があったらよかったのに...と悔しく思いました(笑)

第2部は小グループにわかれて、地域の中小企業の社長に直接質問し答える時間です。サニーサイドも「仕事を続けるにはどうしたらいいですか?」「夢は持っていた方がいいですか?」「やりがいはなんですか?」「高校生のうちにやっておいたほうがいいこと」などの質問に、私自身は転職を繰り返したことで、今は仕事が楽しいということ、外に出ている人々と知り合うと道が開けること、わりと正直に答えてみました。「こうでないといけない」に追いつめられることなく、失敗しながら、のびのびと生きのびてほしいなあと思いました。不安と期待を持った素直な高校生に会うと学びがあり、私自身の生き方やあり方を考え直す貴重な時間になっています。



(松村)

サニーサイドコラム

この度、コラムの順番が回ってきましたので、寄稿させていただきました。

今般、他事業所からの応援要請もあり、筋ジストロフィー(厚生労働省指定難病の一つ。骨格筋の壊死・再生を主病変とする遺伝性筋疾患。遺伝性といっても親からの遺伝割合は低く、遺伝子の突然変異によって発症に至るケースが多いとのこと。また、通称筋ジスは、病名の総称で、症例によって類型が多岐にわたります。その類型についての詳述は、ここでは割愛させていただきます。)

筋ジスを患いつつも在宅で暮らす一人の青年のケアに関わらせていただくことになりました。

ケアに入らせていただくにあたり、初めての顔合わせ兼見習い(本人さん、親御さんや先輩ヘルパーさんからケアの手順や留意点等を教えてもらう)にお伺いしたとき、私は、ベッド上に横たわる彼の傍らに設置されている装置に正直たじろぎそうになりました。『果たして、こんな重度の方の対応ができるだろうか(機器装置の扱い方含めて)』そんな思いが一瞬過りましたが、意を決して、ご本人さんにご挨拶をしたところ、彼は目を細めてニッコリと鼻に被さった鼻マスクとともに、大きく縦に頭を振って会釈を返してくれました。彼の会釈によって、私の中で強張っていたものが解されたように感じました。

彼の鼻に被さったマスクから伸びたホースは、装置に繋がっています。その装置からは一定のリズムでプシューッシューッという音がしていました。彼の説明によると、完全な人工呼吸器ではないが、(自分の呼吸器の筋力が弱っていながらも、まだ自分で自発呼吸できているので、その呼吸に合わせて吸入する酸素量を増幅してくれる装置なんだと教えてくれました。

清拭と着替えが終わったあと、いよいよ車椅子への移乗です。

このときが、一番気をつけねばならないケアの場面で、筋力が低下しているので、車椅子の座面のベストポジションに座っていただかないと、ズルズルと崩れ落ちてしまいますし、上半身を抱えるときに力任せに引き上げようとする、痛みが走ったり、肩が抜けてしまったりするそうですので、力加減を保ちながら移乗するのが肝要なポイントになります。また、彼の身体を抱き抱えての移乗なので、一時的に自発呼吸の補助装置を外して行いますから、迅速にかつ安全に行うのが第一となります。あまりに時間がかかると、さすがに彼の呼吸がしんどく苦しくなってしまいます。私も迅速にかつ安全を第一に立ち回っているつもりが、思いの外、時間がかかっていたりして、彼を苦しめることが度々あります。そんなときにも彼は、『ありがとう。だんだん速くなってますよ』と励ましてくれています。

無事に車椅子へ移乗したら、自室へ移動し、車椅子用のテーブルや肘おき、クッション等を活用して、彼にとっての安楽な姿勢を整えます。身体的に支障を感じない私は、普段、何気もなく安楽な体勢をとってリラックスしますが、筋力低下によって身体の動きがままならない彼にとっては、安楽な姿勢を確保すること自体が至難のわざであるため、そのサポートをします。首の角度、テーブルの位置、肘の位置、膝の上げ具合などを彼の要望を聞きながら、実に細かな微調整を行います。最終的に彼の求める安楽な姿勢の位置が定まると、彼はにっこり笑って『ハイ、オッケー』と。その一言をもらったときの私は、よっしゃと達成感に浸ったりしています。その流れで、歯磨き・洗面・痰の吸引を行い、次の彼の日課へとサポートは移ります。

大画面のテレビをつけて、プレイステーション(4)というゲーム機を繋げて、彼専用のコントローラをセットするよう要望を受け、その準備をします。彼曰く、『微かに動く指先のリハビリ(筋力維持)とポケ予防』のため、1時間ほどお気に入りのゲームをするのだそうです。

そのコントローラが驚きの代物で、純正付属のコントローラではなく、パソコンのキーボードに段ボールと割り箸とを組み合わせて作った手製の部品を取り付けたオリジナルコントローラ。しかも、その設計は彼自身が考案し、パソコンで設計図を作図して、その設計図を基に、お母さんが組み立てて取り付けたそうです。

微かに動く指先と顔の頬っぺたを駆使して、主人公が手持ちのアイテムをとっかえひっかえしながら怪物を攻撃して倒していく内容のゲーム(また、その展開が速いものなの)を、オリジナルコントローラで巧みに操作してクリアされていました。

彼が巧みにゲーム展開している姿を見て、私の勝手な思い込み(身体的に重度な支障のある人がゲームとかするのは難しいだろう)という勝手な思い込みが打ち砕かれてしまいました。

短時間ではありますが、この度携わらせていただくことになった彼のケアの中で、新たな発見を与えられ、学ばせてもらうことも多くあります。それらを復習しながら、より良いサポートが出来るように精進したいと思っています。

月替わりで職員がご挨拶!
今回はレオール職員の後藤です!!



サニーサイドへのあたたかい賛助ありがとうございました!

尼崎市 H.H さま

西宮市 M.K さま

伊丹市 S.H さま

三田市 T.K さま

